

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	2914
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催方法	☐対面（ ）		
				☐オンライン（同時・録画・資料提示）		
				■その他（未定）		
	正式科目名 副題	地域総合計画論		配当年次	3・4	
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系 その他	
3. 担当教員名	恩田 守雄					
4. 単位数	2 単位		5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 ※調整中 曜日 : ~ :					
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>本講義は地方自治体で策定される総合計画を理解し、その望ましいあり方について考えることを目標とします。総合計画は一般に基本構想、基本計画、実施計画の三層構造からなりますが、広域的自治体の県と基礎的自治体の市町村では性格が異なります。近年住民参加型の計画が多くなり、市民と行政の協働が重視されるようになりました。市民がどのように参加（参画）できるのか、自ら市民の側に立ち計画策定に関わった体験から、その現状と課題について講義します。計画の総論に対する各論では、地域づくりの視点からテーマ別に内容を検討します。具体的な事例を通して問題の発見、分析、解決策の提示というステップを踏みながら授業を進めます。現在少子高齢化が進み、「地方創生」が喫緊の課題となっています。学生諸君は本講義を通して、出身地の地域づくりについて考えてください。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域総合計画の三層構造について理解し説明できる。 2. 市民と行政の協働（計画、実施、評価の各レベル）について理解し説明できる。 3. 地域づくりの理念と手法について理解し説明できる。 <p>【授業の内容】</p> <p>第1回 インTRODクシヨン-社会科学（社会学）入門 第2回 地域総合計画とは何か-基本構想、基本計画、実施計画の三層構造 第3回 県の総合計画と市町村の総合計画 第4回 住民参加型の計画-市民と行政の協働による計画策定 第5回 計画の実施と評価 第6回 地域づくりとしての総合計画と分野（テーマ）別計画 第7回 総合計画の各論Ⅰ-都市基盤・生活基盤分野の地域づくり 第8回 総合計画の各論Ⅱ-産業・経済分野の地域づくり 第9回 総合計画の各論Ⅲ-環境・健康・福祉分野の地域づくり 第10回 総合計画の各論Ⅳ-交流・コミュニティ分野の地域づくり 第11回 総合計画の各論Ⅴ-教育・文化分野の地域づくり 第12回 ケーススタディⅠ-島根県と埼玉県 第13回 ケーススタディⅡ-政令指定都市（さいたま市、広島市、福岡市） 第14回 ケーススタディⅢ-松江市と浜田市 第15回 エピローグ-まとめ</p>					
11. 試験・評価方法	試験 60% ・小レポート（コメントシート）20%、・平常点（出席、授業態度）20%					
12. 別途負担費用	テキスト： ・恩田守雄『グローバル時代の地域づくり』（2010年、学文社）。 ・恩田守雄『共助の地域づくり-「公共社会学」の視点-』（2014年、学文社）。					
13. その他特記事項	参考文献： ・恩田守雄『医学生のための社会学入門』（2016年、晃洋書房）。 ・恩田守雄『支え合いの社会システム』（2019年、ミネルヴァ書房） ・恩田守雄『開発社会学』（2006年、ミネルヴァ書房）。					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。